

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

(EKUTEBIAN VOL.13 FEBRUARY 1996 EKUTEBIAN)

2



まい あーと ■ 陶芸「らんぷ」by 恵 芳子

# MADE IN EKUTEBIAN

メード・イン・えくてびあん

1



あざやかなハンデごてさばきて、  
工程は進んで行く

心臓部の組立。あまりのシンプルさ  
に本当に聴こえるか心配になるほど



完成した鉱石ラジオ。入感して来た  
のはTBSの竹内まりやの曲だった



何でもか買える便利な世の中。あえてその物の原点に戻って見たら、別の世界  
が覗けるかも知れない。そんな好奇心にくすぐられて、初めてみよう“MADE  
IN EKUTEBIAN”。第1回目は荒井重行さんと鉱石ラジオを作って楽し  
んだ。電池もいらない、イヤホンでしか聞けない、か弱い音しか出せない鉱石  
ラジオだが、不便だなんて勝手に決めつけちゃいけません。元来、音とは「耳  
を傾けて聴く」というじゃありませんか。

## 荒井重行さん(曙町1丁目)と 鉱石ラジオをたのしむ

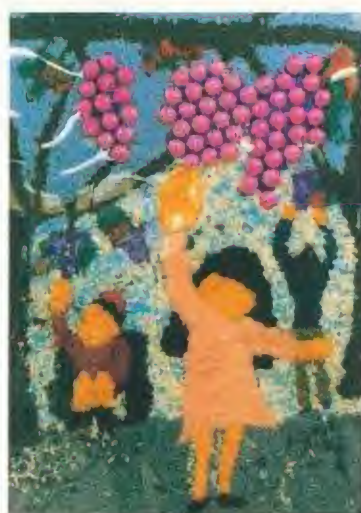




春/「歩け歩け」  
至誠老人ホーム 平均年齢・78歳



夏/「すいか割り」  
特別養護老人ホーム5F 平均年齢・87歳



秋/「ぶどう狩り」  
特別養護老人ホーム2F 平均年齢・84歳



冬/「ある冬の風景」  
柏センター 平均年齢・81歳



●えくてびあん・レポート

# 四季のいろ、 ありがとう、 先輩。

第21回 至誠ホーム  
いきいき生活作品展より



たくさんのお年寄りが集う至誠ホーム(錦町)が  
毎年行っている作品展、今年も1月17日からの3日間  
駅ビルルミネ・ウイルクギャラリーにて開かれました。  
今年のテーマは「春・夏・秋・冬」  
日々の忙しさにかまけた私たちが忘れていた  
四季の「いろ」。当然のことながら、春には春の  
秋には秋のいろがあったんですね。  
季節を愛でる想いを、ありがとうございます、先輩。



[illegible]



# わたしの 玉手箱

## 3. 羽衣町・小蘭井種義さんの 「アンティーク・ウォッチ」

「これ、嫁に行きそうなんだよ」と悲しげな顔で並べてくれた小蘭井時計店のかわいも爺たち。古き良き物への愛着の前には、商売なんて関係なくなってしまうのである。

